



芸術監督だより

～ OMURA室内合奏団10周年の春～

おかげさまでOMURA室内合奏団も10年目を迎えました。

10年ひと昔、と言いますが、早いものです。1年1回の定期演奏会が2回になり、長崎公演に続いて佐世保公演も実現し、更に活躍の場を広げようといたしております。これもひとえにパトロネージュ倶楽部の皆様のご支援あればこそと深く感謝いたしております。

今年、九州交響楽団は創立60周年を迎えます。50年後のOMURA室内合奏団はどのようになっているのか想像つきかねますが、とりあえず、10周年記念コンサートを5月24日（長崎）25日（大村）、迫昭嘉さんと松原勝也さんの共演で予定しておりますので楽しみにお待ちください。

その前に、3月2日、パトロネージュ倶楽部会員の皆様、シーハット倶楽部会員の皆様ご招待のコンサートがございます。

二十絃箏の第一人者、吉村七重さんを迎えて、OMURA室内合奏団有志との共演です。私事ながら、5才の頃、最初に触れた楽器はお琴でした。もちろん十三絃ですが。それもあってか、邦楽大好き人間です。殊に、歌舞伎座などで、緋

毛氈に並んで演奏される長唄を聴くとゾクゾクしてしまいます。

二十絃箏は伝統の影を秘めながら新しい時代の要求に押されて1969年、演奏家、野坂恵子、作曲家、三木稔によって創されました。4オクターブを持つこの楽器は広く普及し、特に新しい音楽、現代音楽を目指す演奏家や作曲家にとって欠かすことのできない楽器となっています。

今回のコンサートでは、十三絃箏による伝統的な曲「乱」も演奏されますが、なんといっても二十絃箏の魅力をたっぷりお楽しみいただけます。

西村朗作曲「炎の幻声」は、かつて私がカザルスホールで仕事をしていた折の依嘱作品で、二十絃箏と10人の弦楽奏者で織りなす幽玄の世界。三木稔作曲「結II 森」は二十絃箏とチェロの二重奏で、田辺清士が新しい世界にチャレンジいたします。

多数の皆様のご来場、心よりお待ちいたしております。

村嶋 寿深子

吉村七重 & OMURA室内合奏団

日時 2013年3月2日(土) 14時開演

会場 シーハットおおむら・さくらホール

料金 [全席指定] ◎個人会員様 1名、法人会員様 5名を御招待
◎一般2,000円

出演 吉村七重、坂本ゆり子、下田れい子、田村法子、OMURA室内合奏団アンサンブル10名

曲目 ◎古典箏曲 亂〈midare〉／八橋僕校 ◎炎の幻声／西村朗



長崎初お目見え大好評でした

～OMURA室内合奏団 クリスマスパーティ～

2012年12月10日(月)
ホテルニュー長崎／会費1万円



「OMURA室内合奏団?名前は聞いたことある。でも演奏は知らんばい」「『岸壁の母』なら歌うけど、クラシックはね」。そんな声が飛び交う中、まずは長崎の経済界の皆さんに知って貰おうと企画したクリスマスパーティ。NPO理事の嶋崎長崎バス社長からは「とにかくオシャレで行きましょう」というわけで案内状も当日も



プログラムも華やかに。230人が参加、17人編成による演奏はニュー長崎ホテルでも初お目見えでした。

ウエルカムは弦楽四重奏。前半の演奏は「花のワルツ」などクラシックの名曲。食事中にはピアノ＆管楽器メンバーがBGM。コーヒータイムの後半は「サウンド・オブ・ミュージック」「長崎の鐘」など馴染みの曲の編成。アルコールが入っている会場とは思えぬほど会場は静か。アンコールの「ラデツキー」は拍手の嵐。

最後は、「小学校からクラシック一筋」だったという渡邊造船所社長が、「皆さん、OMURAの応援団になってください」と呼びかけ、2時間半余りのパーティは終わりました。「初めて聴いたがとても良かった」「夫婦揃ってのパーティは久々だった」「こんないい企画はぜひ続けて欲しい」という声があちこちで聞かれた大成功の初企画でした。

かくして、今年もやります。12月9日(月)です。日程チェックを。

楽しかった雲仙湯けむりツアー

OMURA室内合奏団結成10周年を記念して、1月6日～7日、雲仙国民宿舎「青雲荘」に団員とサポーター総勢33名が集い親睦会が催されました。

迎えのバスでシーハットを出発、宿舎に着くや早速温泉につかり、身も心もホットになって宴会場へ。ごちそうを堪能しながら、合

宮本 千波
(黒木山荘やまぼうし)



間に自己紹介、阿弥陀くじ、クイズと続き、次々と出される豪華な景品に会場が沸き立ちました。二、三次会は話とカラオケで盛り上がり次の日にずれ込んでお開きとなりました。



寝不足の体を早朝の露天風呂に浸して元気を取り戻し集合場所のロビーへ。宿舎からのご好意で普段は入場禁止の小地獄の源泉を見学し、お心尽しの温泉玉子をフーフー。おいしかったです。

合奏団を支えようという目的で結ばれた仲間との一夜、ほんとうに楽しかった。こういう心の繋がりがあれば合奏団はこれからも、もっともっと豊かな音を目指して成長していくに違いない、そう思えて、何だかとても嬉しくなりました。

OMURA Chamber Ensemble 2013年のラインナップ

2月

開催まで間もなく!

○第2回 佐世保演奏会

- 日時 2013年2月11日(月・祝) 14時開演(13時30分開場)
場所 アルカスSASEBO 中ホール
出演 松原 勝也(指揮・ヴァイオリン)、OMURA室内合奏団
~詳細は別添チラシをご覧ください。~



3月

○長崎県美術館 クリムト展×OMURA室内合奏団トーク&コンサート

- 日時 2013年3月16日(土) 15時開演(14時30分開場)
場所 長崎県美術館 2Fホール
出演 OMURA室内合奏団弦楽五重奏 村岡恵理子(sop) 横山浩平(bar) 濱野久子(pf)
~詳細は別添チラシをご覧ください。~

5月

2月5日会員先行チケット発売開始!

○第16回定期演奏会 & 第4回長崎演奏会

- 日時 《長崎公演》2013年5月24日(金) 18時30分開演(18時開場)
《大村公演》2013年5月25日(土) 14時開演(13時30分開場)
場所 《長崎公演》長崎市民会館・文化ホール
《大村公演》シーハットおおむら・さくらホール
出演 迫 昭嘉(指揮・ピアノ)、松原 勝也(ヴァイオリン)、OMURA室内合奏団
~詳細は別添チラシをご覧ください。~

チケット発売
会員2月5日(火)
一般2月13日(火)

指揮・ピアノに2007年まで芸術監督を務めて下さった迫 昭嘉さんをお迎えして、メンデルスゾーン特集をお送りします。合奏団10年の成果をぜひ会場でお聴きください!

8月

○サマー・ミュージック・キャンプ2013(仮)

- 日時 2013年8月7日(水)~10日(土)
場所 大村市民会館/シーハットおおむら・さくらホール

2009年からOMURA室内合奏団が行ってきた夏のお祭り「ミュージック・フェスタ」。今年はリニューアルしてジュニアオーケストラを中心としたセミナーを実施します。最終日 10日(土)にはガラ・コンサートを予定しています。どうぞお楽しみに。

10月

『城下町秋の音楽祭』を 9月14日(土)~11月2日(土)に予定しています。

12月

○第17回定期演奏会&第5回長崎演奏会

- 日時 《長崎公演》2013年12月20日(金) 18時30分開演(18時開場)
《大村公演》2013年12月21日(土) 14時開演(13時30分開場)
場所 《長崎公演》長崎市民会館・文化ホール
《大村公演》シーハットおおむら・さくらホール
出演 松原 勝也(指揮・ヴァイオリン)、益田 正洋(ギター)、
OMURA室内合奏団
料金 《長崎公演》[全席自由]大人3,500円、高校生以下1,000円
《大村公演》[全席指定]大人3,500円、高校生以下1,000円

2013年からは冬も長崎でOMURAサウンドをお楽しみいただきます。ゲストに長崎出身のギター奏者益田正洋さんをお迎えします。



第11回 団員リレートーク

ティンパニ編



富田 篤 (ティンパニ)

私はOMURA室内合奏団でティンパニを演奏しています。

このティンパニなる楽器、アラブの軍楽隊で用いられた軍楽太鼓が起源だ

と言われています。当時、大小一対の異なる大きさの太鼓を馬の背に乗せ打ち鳴らしていた訳ですが、人がその馬に乗る際、太鼓が邪魔にならないようにと、足を最初にかける左側(正面から見て右側)に大小あるうちの小さな太鼓を配置しました。これが現在ジャーマンスタイルと呼ばれるティンパニの並べ方の原型で、

ヨーロッパの多くのティンパニストはこのジャーマンスタイルでティンパニを並べます。

しかし、アメリカのティンパニストはアメリカンスタイルと呼ばれる「真逆の配置」が主流で、わが日本でも他の文化同様、戦後アメリカに受けた影響からか、多くのプレイヤーがアメリカンスタイルで演奏しています。巷で売られているティンパニの教則本もすべてアメリカンスタイルで書かれているおかげで、日本の中高生が吹奏楽部などで演奏する並びはほぼアメリカンスタイルです。

このスタイル(並び)の違いが音楽全体に多大な影響を与える…事はありませんが、OMURA室内合奏団で演奏する曲は、ジャーマンスタイルをイメージして書かれた作品が多く、私もジャーマンで演奏していますが、ベートーベンやシューマンなどを演奏していると、やはりティンパニはこの並びがしっくりくるな、と感じています。

第3回 パトロネージュ 交流プラザ

『ファンドレイジング』

12月10日、長崎市のホテルでOMURA室内合奏団のクリスマスコンサートが開催されました。主催したのは、長崎経済界の主な人たちで構成するOMURA室内合奏団を支援する会。約70組のご夫妻をはじめ、経済人など約250名の参加者が合奏団の素晴らしい音色のもと舌鼓を打ちながら至福のひと時を過ごすという長崎にはなかった文化に親しむイベントとなりました。参加者からも継続を所望されるなどとても好評でした。

また、1月6日“雲仙湯けむりツアー”と称して雲仙・青雲荘でOMURA室内合奏団員と支援者の交流会が開催されました。



藤 泉
(長崎自動車(株)常勤監査役)

零下の月夜のもと露天風呂に癒され深夜まで賑やかに楽しく集う光景が続きました。

これらの取り組みは、ファンドレイジング(寄付・支援者開拓のための戦略的な取り組み)といわれ、欧米の文化活動などでは広く使われている手法です。

OMURA室内合奏団も創立から10年。長崎県の文化創造としてさらに飛躍してもらうために、様々な方法で支援していきたいと思います。

OMURA室内合奏団団員への質問、
音楽や楽器の気になる疑問!! など、
ご感想やご意見、ご質問を募集しております。

宛 先 〒856-0836 大村市幸町25-33

シーハットおおむら内「パトロネージュ通信」係

メール omurapatron@gmail.com

編集後記

◎2013年を迎え、今年の目標を立てました!どんな1年になるのでしょうか。今年はOMURA室内合奏団も10周年!!たくさんの方にご支援いただいているありますが忘れないで過ごしていきます!いつもありがとうございます。(編集長 いけっち)

◎一年の計は元旦にあります。今年の正月は食べまくり、人に会いまくり、でした(笑)そんな年になるのでしょうか。今年もよろしくお願ひいたします。(副編集長 yoppo)

◎2月は佐世保、五島と合奏団があちこちで演奏します。3月の長崎県美術館でのクリムト展とのコラボもとても楽しみ。お近くの方はぜひ聴きにいらしてください。(事務局 ま)

OMURA室内合奏団の最新情報♪ <http://ocenagasaki.blog25.fc2.com/>